

鹿乗川関連遺跡群 発掘調査だより

(公財) 愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター

亀塚遺跡で地元説明会を開催します

6月に始まった今年度の鹿乗川関連遺跡群の調査も進展し、現在は亀塚遺跡のAa区、Ba区、Ca区の3箇所を調査しています。こちらで地元説明会を開催することになりましたのでお知らせいたします。

亀塚遺跡のAa区では幅10mを超す規模の古墳時代の河川の跡が見つかっており、Ca区では弥生時代の方形周溝墓^{ほうけいしゅうこうぼ}（お墓の一種）が見つかっています。また、遺物も弥生時代の前期（約2300年以上前）から古墳時代の前期（約1650-1800年前）までのものが見つかっており、壺^{つぼ}、甕^{かめ}、高坏^{たかつき}といった土器類から、鍬^{くわ}、杭^{くい}、櫛^{くし}といった木製品まで、様々なものが出土しています。ぜひこの機会に現地にお越しいただき、当時の遺物や遺構を御覧ください。

※本紙の内容は7月末時点のものであり、当日とは異なる場合があります。ご了承ください。

日時：令和5年 8月19日（土） 10:00～12:00

場所：安城市 亀塚遺跡 発掘現場（現場公開）

& 現場詰所（遺物展示）

※ 駐車場はありません。公共交通機関をご利用のうえお越しください。

（名鉄西尾線 桜井駅から東へ1.5キロ 徒歩約18分）

※ 熱中症にお気をつけてお越しください。

※ 現場内は足場が悪いため、靴でお越しください。

※ 雨天の場合、遺物展示のみ実施します。



亀塚遺跡 Ca 区 方形周溝墓



現地案内図



亀塚遺跡 Aa 区の木製品出土の様子

◀以前の調査で、亀塚遺跡の河川跡では大量の土器、木製品が出土しています。今年度の調査でもそれは同様で、端を尖らせた杭、農耕具である鋤や又鍬（写真中央）、建築部材と思われる棒状の部材（写真手前）や、穴の開けられた板などが確認されています。



亀塚遺跡 Aa 区出土の豎櫛

◀亀塚遺跡の出土遺物の中でも注目されているのがこの豎櫛です。全体が一つの木材から削り出して作られるタイプですが、その形状や文様は、独立した櫛歯を束ねて作るタイプを模しています。赤彩もなされており、非常に凝ったつくりの、珍しい一品です。



亀塚遺跡 Ca 区出土の壺

◀ラッパ状に開く口縁部と頸部の沈線が特徴的な、遠賀川系土器の壺です。北部九州より水稲耕作とともにもたらされた、弥生時代の始まりを象徴する土器とも言われます。尾張から西では一般に見られますが、三河地域では断片的にしか出土しないものです。

鹿乗川関連遺跡群 発掘調査だより 令和5年度第2号 令和5年8月10日

編集・発行 (公財) 愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センター

TEL: 0567-67-4163 (担当: 池本・河嶋)

公式サイト: <http://www.maibun.com/>

印刷・協力 株式会社イビソク (現場代理人連絡先: 080-8250-7393 (小林))